

こんなご勘弁

就活終えた学生の声 ③

会社を売り込む前に自分自身を売り込む中小・ベンチャー企業の採用担当者は案外多いようです。好感を持たれれば良いのですが、ポイントを外してしまうと「あなた大丈夫？」と、優秀な学生ほど冷静に見ているもの。今回は、そんな例を紹介します。

「恋愛上手は仕事上手？」

「ベンチャーで活躍する人はね、そろって恋愛上手なんだよ。みんなモテるんだよねー」。きっと真面目な話につなげるための導入なんだと思っていたら、自分の恋愛談のオンパレード。あなた本当に仕事してるんですか？

会社説明会に集まった学生たちを前に繰り広げられた採用担当者の自慢話です。

中小・ベンチャー企業では多くの若い女性が第一線で活躍しています。特に採用担当者は会社の顔でもあることから、魅力的な女性が多いようです。胸元がきわどい服装で面接中、男子学生の前で何度も前屈みになる人もいたとか。女性の武器を使いすぎるのも考えもの。うぶな男子学生がいることも忘れずに。

「信用しないなら聞かないで！」

「ところで弊社は第一志望ですか？」「はい、御社が第一志望です」。なんの迷いもなく答えました。だってそう答えるのがマナーだと大学で教えられましたから。でも、人事の方は「みんなそういうんだよね、はぁ～」と、まるで信じ

ていない様子。だったら聞かなきゃいいのに……。

中小企業であろうと大企業であろうと、志望度を学生に聞くのはナンセンス。入社してほしい学生の志望度を向上させるのが、採用担当者の本来の仕事ですからね。

選考を案内するメールの書き出しが「こんにちわ！」とあったがために、選考を受けるのを辞めたという学生がいました。メールの差出人はIT（情報技術）系ベンチャー企業の採用担当者。ネット文化の影響でしょうか、誤った仮名遣いをする若い社会人が増えてきました。学生の活字離れを笑えません。人事担当者たるもの正しい日本語を使いましょう。



「SNSから連絡してくるチャラ男系」

「久しぶり！最近どう？ (*^*)v」と、やけに馴れ馴れしいLINEからのメッセージ。私、あなたとそんなに近い関係でしたっけ？

もはやベンチャーとは呼べない大手就職情報会社の人事から女子学生へのフォロー連絡です。交流サイト(SNS)は便利なツールですが、選考中の学生に使うのは考えたほうがいいのかもしいです。

今回は最終回。私から採用担当の皆さまへの愛あるメッセージをお届けします。

(パフ社長 釘崎清秀)

会社でなくモテ自慢／「こんにちわ」？